

事務事業名	広域入所(私立委託)事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名	石飛 和宏
施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	桑山 真知子	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2251
目的: 対象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意図	A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 1:5 0:1 事業名 項 目 中事業 中事業 1:0 2:0 0:1 事業名
基本事業名	〈072〉子育てと仕事の両立支援				私立保育所運営事業 私立保育所総務管理事業
目的: 対象	保護者	意図	子育てと仕事を両立できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	・市外私立保育所への入所申し込みがあった場合、委託先保育所管轄市町村に受入れの可否を照会。可能な場合は、協議、委託先保育所との委託契約締結などを経て入所承諾をし、保育料を徴収する。実施責任を負う雲南市が委託先の保育所に、国の定める保育単価に基づき保育の実施に要する費用を支弁する。 【平成28年度分から】 私立認定こども園保育委託除く。 (私立認定こども園総務管理事業で予算措置)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動)	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動)				
	・委託先の保育所に実施費用を支弁する。	・委託先の保育所に実施費用を支弁する。				
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
ア	相手方自治体への受入照会件数	件	29	39	28	20
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
	保育の必要性があり、保護者の勤務地等の理由で市内の保育所開所時間内で対応できない児童及び委託先保育所	ア	委託児童数	人	15	33	20	18
		イ	委託契約保育所数	所	11	16	12	10
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)		
保護者の職業の多様化による勤務時間の変化に柔軟に対応し、子育てしやすい環境をつくる。	ア	希望児童数に対する受入率(③ア/②ア)	%	51.7	84.6	71.4	90.0	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)		
【H28年度分から】私立認定こども園を除く ・委託料16,704千円 ・対象園:12園 松江市3、出雲市7、奥出雲町2 【財源内訳】 国7,521千円(給付費) 県3,343千円(給付費、1・2子軽減、3子軽減) その他1,355千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	3,805	9,175	7,521	7,573
		県支出金	千円	2,041	4,060	3,343	3,288	
		地方債	千円					
		その他	千円	1,690	2,954	1,355	1,700	
		一般財源	千円	4,300	7,018	4,485	3,955	
		事業費計(A)	千円	11,836	23,207	16,704	16,516	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	107	107	107		
		人件費計(B)	千円	464	454	450		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	12,300	23,661	17,154		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・保護者の勤務状況の多様化、家族構成の変化により、市外の保育所への入所希望がある。但し、年度によりばらつきがある。 ・市外において待機児童が生じている場合、新規申込者については受入れ困難となってきた。	特になし	・年齢や申込時期等にもよるが、待機児童が発生している自治体(松江市、出雲市など)では受入れが困難な状況である。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 現状においては特に余地がないと思われる。法定業務	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 保護者の勤務先等の都合により市外へ入所しており、廃止・休止した場合市外への転出懸念がある。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 市内の保育所の開所時間を延長する等の方法もあるが、延長したとしても保護者によっては通勤途中で登所可能等のメリットがあり市外入所を希望しておられる。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 内閣総理大臣が定める基準により算出した費用の額を委託料として支払うため、改善の余地はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 相談から他市町との連絡調整、文書での契約、保育料徴収と必要とされている最低限の業務としている。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 市内の居住者で保育に欠ける児童については、すべて対象となっているため偏っていない。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 委託予定先の自治体において待機児童が発生している場合(特に松江市、出雲市)の入所は困難である。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
今後、松江市、出雲市への希望者については、入所が困難であるため、市内保育所への入所が出来ないか等対策が必要となる。																						